

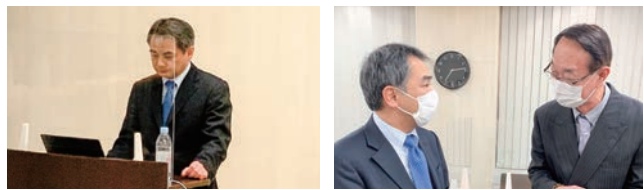
デジタル技術がもたらした インプラント治療のパラダイムシフト

日時：令和2年12月5日(土)

場所：フクラシア東京ステーション・Web 開催



岩野 義弘 (東京都)



毎年恒例の、忘年会前に(株)松風東京支社にて開催される特別研修会ですが、今年はコロナ禍のため会場が変更となり、参集とライブ配信とのハイブリッド開催となりました。ライブ配信は、日本口腔インプラント学会50回記念学術大会でもお世話になりました、Doctorbookの杉田先生にご依頼し、安定した通信環境をご提供していただきました。

今回は、岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座主任教授 近藤 尚知先生を講師としてお迎えいたしました。近藤先生はデジタル分野で我が国をリードする専門家であり、臨床・研究両面からの新しく魅力的なご講演がなされました。特にインプラント分野でのデジタル技術の進歩は目覚ましく、我々が日常触れる機会のある、インプラント埋入シミュレーションや口腔内スキャナー、ミリングマシンや3Dプリンター等の最新情報とともに、顔貌シミュレーションやナビゲーションシステムといった近未来の医療についてもご紹介いただきました。非常に前向きで明るく、参加した誰もが歯科界の未来に希望を抱くことのできる、素晴らしいご講演でした。

近藤先生は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会大会準備運営第一局医療アドバイザーを務められていることから、オリンピック関連の裏話もうかがうことができました。コロナ禍の現在、実際にオリンピックが開催されるかどうかは不透明ではございますが、そのような中準備に当たられる方々のご苦勞をお察しするとともに、もし無事に開催された暁には、何事もなく成功裡に終えて欲しいと願うばかりです。

ご講演終了後には、同じ会場で忘年会がハイブリッド形式で開催されました。近藤先生は大学の規定で会場参加が叶いませんでしたが、近隣ホテルよりオンライン参加して下さり、最後までお付き合いいただきました。

今年は特殊な形式で開催された本研修会ですが、田中会長のアイデアと多くの先生方のご協力により、無事盛会裏に終えることができました。本形式も悪くはないのですが、やはり皆で顔を合わせて行う研修会が一番だとも思います。次回は例年通り開催されることを祈りつつ稿を終えさせていただきます。